

2025 年日本国際博覧会 タイプ C 共同館 (国際機関共同館・CS2 館)

共用部等整備業務

企画提案書作成要領

提案書は、2025 年日本国際博覧会 タイプ C 共同館 (国際機関共同館・CS2 館) 共用部展示制作 (以下、「仕様書」) を理解した上で、以下に基づいて作成すること。

1. 共通事項

- (1) 提案書類は公募要領に記載の種類を作成すること。企画提案書にはページ数を記入し、表紙の後に目次を作成すること。
- (2) 両面印刷で正本 1 部、副本 1 部を作成すると共に、電子媒体 (CD-R、DVD-R 等) に PDF ファイルを収めたものを郵送で提出すること。また、電子媒体は電子メールでも提出すること。なお、副本については、企業名及び社章等応募者が特定できる内容の記入を削除すること。
- (3) 提案内容は、その考え方等について、文章、表、図等を用いて簡潔かつ明瞭に記述すること。
- (4) 仕様書の記載事項について、どのように実現・提供していくか等、手法・方策等の提案に関する記載をわかりやすく具体的に記述すること。
- (5) 仕様書等と同等の内容については、できるだけ資料名、章番号、頁による引用に留め、簡潔に記述すること。
- (6) 以下「2. 提案書への記載依頼事項」に沿って、提案書を作成すること。
- (7) 企画提案書に記載した内容に係る費用については、すべて応募金額提案の中を含むものとする。

2. 企画提案書への記載依頼事項

企画提案書に必ず記載すべき項目を以下に示す。事業の趣旨や内容を理解した上で提案者の特色を盛り込むこと。なお、項目を追加して提案を行うことは妨げない。要件を直接満たさない場合は、提供可能な代替案を明示すること。

【企画提案書に必ず記載すべき項目】 ※項目番号は以下の通りとすること。

(1) 事業の実施方針

1. 1 事業に関する知見・知識・専門性等

- 仕様書に記載の内容をよく整理し、事業の実施方針を記すこと。本業務を実施する目的および実施内容についての十分な理解を示すこと。

1. 2 追加提案事項

- パビリオンの整備業務を包括的に理解し、仕様書に記載されていない提案があれば示すこと。

(2) 業務内容の仕様

2. 1 専門性

- 仕様書 6 ①の「ファサード」について、提供するイメージ図を基に安全性・耐久性に考慮した仕様・設計の提案を示すこと。

2. 2 専門性

- 仕様書 6 ②の「展示区画の間仕切り」について、提供するイメージ図を基に安全性・耐久性に考慮した仕様・設計の提案を示すこと。

2. 3 専門性

- 仕様書 6 ①～④の施工物・納品物について、会期中の保守・修繕・点検業務を実施するための体制案・業務フローを示すこと。

(3) 追加提案事項

- ・ 仕様書に明記がなく、応札者が応募金額の範囲内において本業務と関連して実施する業務で、協会や利用者が有益となる提案があれば示すこと。上記(1)から(3)の項目内に記載する場合は、追加提案部分であることを明記すること。

(4) その他

- ・ 費用については、応募金額提案書・内訳書(様式4)に記載し、提出すること。
- ・ 実績については、事業実績申告書(様式5)に記載し、提出すること。

3. 提案書の評価基準

協会は「評価基準配点表」(別添4)に示す提案書の評価基準に従い、提案内容を評価する。

以上